

チャレンジ! やまがた 健康経営

2

県内外で福祉施設を運営する社会福祉法人「敬寿会」(山形市、金沢寿香理事長)。法人全体で安全衛生活動を推進し、各施設が独自の取り組みを展開している。このうち、特別養護老人ホームなどの沼木敬寿園(同市)は職員一人一人の健康づくりノートを作成し、看護師の資格を持つ健康管理担当者が面談を通して生活改善などをアドバイスしている。

「犬の散歩は何分ぐらいですか」「10〜15分ぐらいです」

「敬寿会」(山形)

施設ごと独自の取り組み

生活改善 ノートで点検

「もう少し長いといいですね」ペースで繰り広げられる健康を行う。2017年度に「やまがた健康づくり大賞」に輝いたこま。職員それぞれの健康づくりノートを参考にやり取り

金沢忠次施設長は「ノートを通して健康づくりの成果が分かり、やりがいにもつながっている」と手応えを感じている。



健康づくりノートを基に今後の生活改善などについてアドバイスを受ける職員

山形市・沼木敬寿園

【敬寿会】

- ▽設立=1994年
- ▽本部=山形市諏訪町2の1の25
- ▽職員数=745人(2018年4月1日現在)

ページがある。健康づくりの取り組みは▽食生活▽運動▽たばこ・お酒の3項目のうち、「ラーメン・うどん・そばの汁はできるだけ残す」「歩ける距離は車を使わない」「休肝日をつくる」など既存の目標から選択したり、独自の目標を立てたりして月ごとに「○」「△」「×」で達成度を評価する。16年から導入し、職員の健康状態や健康づくりの取り組みを「見える化」することが狙いだ。「目標を立てること、くり活動を通して職員同士の交流も深まっている。今後も少しずつ目標を増やして達成推進していきたい」と話している。

敬寿会は県内と宮城県、関東に計11拠点を有し、4月には仙台敬寿園を増床するなど事業を拡大している。3、4年ほど前に腰痛の発生や残業時間の増加などが目立ったため、利用者へのより良いサービス提供には職員の健康づくりが大切として取り組みを本格化してきた。他